



[248]

主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあつて死んだ人々が、まず最初によみがえり、空中で主に会い、いつも主と共にいるであろう。 **テサロニケ前書 4:16, 17**

見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。

黙示 21:3, 4

5. 死にいたるまでも ^{まこと} 誠を ^つ 尽くしぬ。
みかみは ^{なみだ} 涙を またくぬぐいたもう。

6. あ がなわれし ^{いま} 今 とわの ^{やす} 安き ^え 得ぬ。
^{われ} 我らもときわの ^す み住まいをめざさん。

7. 主の死は我らに ^{めぐ} いかなる恵みぞ！
我らをも死にぞ ^か 勝たしめたまえや。